



## 第五小だより

朝霞市立朝霞第五小学校  
〒351-0024 朝霞市泉水3-16-1  
TEL: 048-462-0455  
FAX: 048-467-4737  
Email: 5shou@asaka-c.ed.jp  
文責: 校長 唐松 善人

令和3年2月1日発行 第12号

目指す学校像 生き生き学び、楽しくのびのび活動する、元気な学校

### 残心



「残心」とは、剣道や弓道など武芸の世界に伝わる言葉で「ざんしん」と読みます。下から読むと「こころのこり」となりますが、武芸の世界では一つの動作を終えた後でも緊張を持続する心構えのことを意味します。例えば、剣道では打ち込んだ後に相手の反撃に備える心の構え、弓道では矢を射た後の反応を見極める心の構えのことです。

私がかつて中学校の剣道部で顧問をしていて全国大会に出場したとき、開会式の挨拶の中で、この「残心」についての話がありました。その内容は、「残心」とは「相手の反撃に備える」だけではなく、「自分自身が何かをやり遂げた後の相手への心配り」、突き詰めていけば「相手への感謝の心」であるというものでした。この話を聞いて、私は自分自身の視野が狭かったことに気付かされ、物事はこのように前向きに、広い視野で考えるべきものなのだと反省しました。

例えば、中学校では、野球部など校庭で活動する部活動の生徒が、練習が終わった後、「校庭」に向かって一礼をして、「ありがとうございました」と大きな声を出すことがあります。さらには、自分たちが使った校庭を箒やトンボで掃いたりならしたりします。この感謝の心こそ「残心」です。また、吹奏楽部など室内で活動する部活動の生徒も、楽器や用具、活動した部屋を綺麗にして帰ります。この行為も「残心」となります。「残心」があれば、部活動や授業の後に、校庭や体育館の隅にポツンとボールが転がっていたり、学習した教室が汚れていたりということはありません。

さて、本校の話になりますが、私は、放課後、誰もいなくなった各教室を巡回しています。すると、きちんと机が揃えられ、黒板が綺麗に掃除され、窓の施錠がしっかりとされている学級が多くあります。担任の教師や学級の児童の「残心」に嬉しくなります。「残心」は、起こした行動（今日一日の教育活動）をより明確にして、次の行動（明日の教育活動）への弾みをつくります。本校では、今後も、この「残心」を大切にしていきたいと考えます。



### 五小の様子



【作品校内展示】

本校児童用昇降口を入ったすぐの大広間に図画工作の作品を展示しています。児童は登校時等に、友達の優れた作品を見て感想を述べ合っています。



【感染症予防対策】

感染症予防対策徹底を継続しています。事務室前に非接触赤外線検温器を設置しました。来校者の方には、消毒とともに、検温をお願いしております。



【AED救命テント】

AED救命テントを職員玄関付近に設置しました。AED使用時に傷病者のプライバシーを守るためのものです。ワンタッチですぐに設置が可能となっています。